

10月27日(土) チーム神於山 定例活動報告

2012.10.28
シャープ社友会
社会貢献活動委員会

- 活動日時：2012年10月27日(土) 10:00~16:00
- 参加者：チーム神於山 北浦さん・原さん・山本さん・真砂(記) 以上4名
- 活動内容：記念樹ゾーンの下草刈り 及び 竹灯篭づくり。(目標 50 個)
 - ・竹灯篭づくりの臨時活動が2回続いた後の定例活動で、人数も4名と少ないことから、一番気になることに集中しようという事になり、先ず全員で、入山者の目につく記念樹ゾーンの下草刈りに取り組みました。
 - ・結果、対面の林道沿いの植栽ゾーンを含め、午後2時半頃に下草刈りを終了、その後竹灯篭作りに取り組み、53個作成。久しぶりに達成感のある良い汗をかきました。参加頂いた4名の皆さん、お疲れ様でした。
 - ・これで竹灯篭は累計450個完成。岸和田市から依頼を受けた500個まであと50個で、十分達成可能です。香煙さんの友人の大工の中原さんをはじめ、頑張ってくれたグリーンサポーターの皆さん全員に感謝です。
- その他報告事項
 - ・今年1月14日のSGC定例活動日に伐採した「ミズキ」が、脇萌芽していました。
 - ・記念樹ゾーンの下草は刈っていましたが、基地につながるナワシログミを植えている斜面は今年草刈りをしていなかった為、今日刈込んで判ったことで、自然の生命力に改めて感動しました。
 - ・上部植栽地入口は相変わらずイノシシの又タ場になっており、植栽地に足を踏み入れることを躊躇うほどです。手を入れられていない為、セイタカアワダチソウや桐が茂っている暗渠周りと共に、年内に整備する必要があります。

景観変化 記念樹ゾーンの斜面は再びスッキリしました。これで来春まで大丈夫です。



- ・上の写真の左端の馬酔木ゾーンから右端の展望台まで手入れが終わり展望台に向かう階段や展望台もスッキリ姿を現しました。
- ・それぞれの記念樹の幹周りはカマ・ハサミで、その他は刈払機で刈り込んでいます。こうなると、やはり「神於山シャープの森」の看板が欲しくなります。
- ・脇萌芽していたミズキは、今年一回も手入れできていなかった展望台下のナワシログミの周りのネザサや雑草を刈り取って見つけました。
- ・左の写真は作業風景です。木の大きさが良く判ります。

脇萌芽していたミズキ。



- 7本ほど萌芽していましたが、曲がったものや細いものは剪定し、取りあえず3本に纏めました。
- 親は、樹齢30年ほどの自生のミズキで、シンボルツリーのエノキの日照を守る為、今年1月に伐採しました。21日の臨時活動日に社友の伊藤さんにプレゼントしたミズキはこの親の木です。
- 放置するとまたエノキとバッティングしますから多幹にするか一本にするかを含め、しばらく様子を見ることにします。

活動頂いた4名のGSの皆さん。

久しぶりに育林活動が出来て大満足。お疲れ様でした。



新しい竹から作った53個の竹灯籠を前に置いて、記念の一枚です。

- 竹灯籠53個は、21日に節がある為後回しにした半完成品から作るより、新たに切って作った方が早いと考え、13日に基地に運んだ別の竹を切って作りました。
- 従い、21日の未完分100個近くと、まだ2分割していない30個(60個分)はそのまま残しています。
- 11月10日のSGC活動で作る最後の50個も新しい竹から作り、21日の残は時間が有れば作る+α分と考えた方が良さそうです。

次の課題。上部植栽地の入り口と暗渠回り。



又タ場化した植栽地入口。共生の証とも言えますが。。



草茫々の暗渠周り。